

蝉の音が響き、本格的な夏を迎えました。皆さまにはお変わりなくお過ごしでしょうか。私は日頃から地域を歩き、多くの皆さまのお話を伺っています。その中で感じるのは、子育てや介護、防災、医療、交通など、暮らしに密着した課題への不安や期待の声です。特に女性や子育て世代、高齢者の皆さまからいただく声には、日々の暮らしの中にある切実な課題が数多く含まれています。

県議会では、そうした声を県政へ届けることを大切にしながら、災害に強い地域づくり、子育て支援の充実、空き家対策、地域医療の確保などについて提案を重ねてまいりました。

今号では、6月県議会での主な質問や提案、市民の皆さまの声から実現に向けて動き出した施策などをご紹介します。ぜひ、ご意見ご要望をお寄せください。暑い日が続きます。

どうぞお身体を大切に、健やかな夏をお過ごしください。



令和8年度補正予算等

01 LPガス料金上昇負担軽減事業

趣旨

販売価格が上昇しているLPガスについて、都市ガスにおける国の支援内容と同水準の料金の低減に向けた支援を行い、LPガス利用者の負担軽減を図る。

※LPガス：LP(プロパンなどを加圧して液化させた持ち運び可能なエネルギー)ガス

内容

LPガス販売事業者(又は販売所)を通じて生活者や事業者の利用料金の値引きを行う。

予算額

[支援額] 一般消費者・業務用利用者：1,300円 工業用利用者(大企業を除く)：30円/m³

[支援方法] 令和8年9月使用分のガス料金から値引き

6億700万円

※財源内容：国支出金

02 中小企業電気料金高騰対策支援事業

趣旨

電気料金高騰の影響を受ける県内中小企業者の負担軽減を図るため、特別高圧契約で受電する事業者等の電気料金への支援を行う。

内容

特別高圧契約で受電する事業者等に対し、電力使用量に応じた支援金を交付。

令和8年7月～9月分

[支援単価] 1.8円/kWh ※8月分は2.3円/kWh

[支援上限] 月500万円

予算額

2億8681万8千円

※財源内容：国支出金

03 高校教育改革関連事業

趣旨

産業イノベーション人材等の育成に資する高校教育改革を促進するため、国庫支出金を原資として山口県公立高等学校教育改革促進基金を積み増すとともに、本基金を活用して、国のグランドデザインで示された3類型に沿って改革を先導する拠点を創出する。

内容

区分	事業内容
基金積立	「山口県公立高等学校教育改革促進基金」への積立
高校教育改革拠点創出事業	
アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援	○GX・DXなど産業界の変革に対応した最先端実習設備の整備 ○地元企業・大学等との連携体制の強化
理数系人材育成支援	○理数系素養が育まれる教育課程の改革 ○大学並みのラボ機能等の整備
多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保	○遠隔教育実施に向けた同時双方向配信設備の整備 ○対人不安や不登校経験のある生徒の教室外履修モデル等の構築

※アドバンスト・エッセンシャルワーカー：医療、介護、物流、保育など、社会の基盤を支える現場労働者（エッセンシャルワーカー）が、AIやデジタル技術（ICT）を最大限に活用し、従来よりも高い生産性と賃金を得る進化した次世代の人材像

※GX：環境配慮を軸にした社会・産業構造の変革 ※DX：デジタル技術によるビジネスモデルの変革

予算額

山口県公立高等学校
教育改革促進基金積立金

62億4082万5千円

※財源内容：国支出金
その他

高校教育改革
拠点創出事業

10億1118万5千円

※財源内容：繰入金

04 業務効率化・職場環境改善支援事業

趣旨

ICT機器等の導入によって業務効率化・職場環境改善に資する取組を行い、生産性向上を図る医療機関に対し支援することで、効率的で質の高い医療提供体制の構築を図る。

内容

業務効率化に資するICT機器等の導入及びそれに附随する費用への補助

[補助率] 4/5

[補助上限] 8000万円/施設

予算額

業務効率化・職場環境
改善支援事業

4億2444万3千円

※財源内容：国支出金
一般財源



自然と調和した土木の推進について（有機土木の重要性を指摘）

近年、気候変動に起因する記録的な集中豪雨等による災害が、全国で激甚化・頻発化している中、こうした災害から県民の生命・財産を守るため、県では、河川・海岸等の防災・減災対策を進めているところです。

国は、これまでの河川管理者が実施する「多自然川づくり」から、流域内の多様な主体が連携して取り組む「生態系ネットワークの形成」へと視点を拡大し、自然環境の保全と地域づくりを進めることとしており、本年6月、その実効性向上に向けた議論が開始されました。

今後も、こうした国の動きを注視するとともに、これまでの取組に適した対策を効果的に行っていく考えです。

効率的な道路維持管理について（竹チップ等を活用した防草対策を提案）

道路利用者の安心・安全な通行を確保するため、県では、草刈り等により、道路を良好な状態に保つことが重要であると考えています。近年、地球温暖化等の影響により、草木の繁茂が著しいことや、県民や市町からの草刈りに対する要望も多く寄せられていることなどから、今年度、道路の維持管理予算を増額し、これまで以上に道路利用者の安心・安全の確保に向けた取組を強化したところです。

こうした中、奈良県五條市では、お示しの自然由来の資材である木質チップと、それを固める材料を組み合わせた雑草抑制対策を試験的に実施し、風雨による飛散の状況や、防草対策の効果などの検証を行っている事例も見られます。また、民間企業等では、経済性や雑草抑制効果の持続期間、適用条件など、現場の状況に応じた様々な技術が開発されており、今後とも、こうした新たな技術の開発動向を注視するとともに、活用の可能性を検討してまいります。

女性相談支援体制の強化について

県では、男女共同参画相談センターを核に、増員した女性相談支援員や生活支援員等による各種支援に加え、民間の女性支援団体等と連携したステップハウスの運営などにより、相談から保護・自立まで切れ目ない支援を提供しています。連携強化では、一時保護を伴うものなど、市町単独での対処が困難な事案について、相談センターを中心に、相談者も交えた個別ケース会議において支援方針を策定するなど、市町におけるきめ細かな対応を支援しています。県としては、市町や関係機関、民間団体等と緊密に連携・協働しながら、困難な問題を抱える女性一人ひとりに寄り添い、心身の状況に応じた最適な支援ができるよう、女性相談支援体制の強化に積極的に取り組んでまいります。

県産農林水産物等の高付加価値化・海外展開について

本県農林水産業が持続的に発展するためには、農林水産物等の付加価値を高め、成長する海外の需要を積極的に取り込み、稼ぐチカラを強化していくことが重要です。さらなる海外展開に向けては、国際情勢や市場ニーズの変化を踏まえた対応が重要であることから、輸出先の多角化を進めるとともに、県産農林水産物等の一層の高付加価値化に取り組むこととしています。輸出先の多角化については、輸出コミュニティの会員である事業者の意向や関係団体の意見も踏まえ、新たな輸出先の選定を進めることとしており、その一環として、先月、アメリカ・テキサス州進出セミナーを開催しました。

女性の視点を活かした防災対策の充実・強化について

県では、地域の防災体制の充実や一人ひとりに寄り添った被災者支援を行うことができる女性の防災リーダーを育成するとともに、女性が安心して過ごせる避難所の実現に向けた取組を推進しています。

女性の視点を反映した避難所の運営に向けては、能登半島地震の教訓を踏まえ、女性を会長とする検討組織を設置し、市町や地域住民が行う避難所運営に係る指針の見直しを行い、本年3月にとりまとめたところです。

新たな指針においては、避難所の満たすべき基準を定めたスフィア基準に沿ったトイレ数の男女比や生理用品の配布方法等の記載を明記したところであり、今後も適時適切に見直しを行うなど、より一層女性に寄り添った避難所運営となるよう、市町等の取組を後押ししてまいります。

以前から悪臭や汚れが酷かった光高校のトイレ問題。光市議会が行った「高校生との意見交換会」をきっかけに動き出し、令和6年度より改修工事がスタートしました。私自身、令和6年3月の県議会にて一般質問を行い県への要望を行った結果、早期の改修につながりました。

令和6年2月に光市議会が行った「高校生との意見交換会」で当時の生徒が、現状を訴え整備を要望した。その声を受けて、令和6年3月の県議会一般質問で光高のトイレ問題を取り上げた。

「トイレの環境は志望校を選択する重要な要素の一つでもある。トイレを改修し洋式化を進めていただきたい」と切実な状況を訴えた。その結果、令和6年からの改修工事が急ピッチで進められ、早期の改善に繋がった。

令和2年4月に光高校と光丘高校が再編統合され、新たな光高校としてスタートした。老朽化した校舎の改修も着実に行われているが、地元の子もたちに選んでもらえる高校として、これからも積極的に声を届けていきたい。



令和8年3月でホームルーム棟での洋式化率は100%達成！

光高トイレ全体の洋式化率は26.9%→78.2%へ！
 今後は、教職員用や屋外トイレを改修工事予定。

業務・工事名	予算額 (単位:千円)	内容
普通教室棟他 外壁改修設計業務	8,718	普通教室棟、特別教室棟、管理棟について、老朽化により外壁改修及び屋上防水改修が必要な状況になり、改修に向けた設計を実施 <改修予定> R9:普通教室棟、R10:特別教室棟、管理棟
トイレ洋式化改修	2,400	既設の和式便器の洋式化改修工事 →2基 <洋式化数>総便器数75基 内訳)R6以前に洋式化21基 R7洋式化40基 R8洋式化2基 R9洋式化(予定)12基→教職員用6基、屋外・セナーハウス6基
第2グラウンド整備	3,343	旧浅江中学校グラウンドの構造物を撤去し、グラウンド全体を光高校第2グラウンドとして、主にサッカーができる環境を整備
体育館床改修	4,807	体育館の経年劣化による床表面のへこみや傷、金具のがたつき等の修繕

光高第2グラウンド(旧浅江中グラウンド)

旧浅江中学校グラウンドの構造物を撤去し、グラウンド全体を光高校第2グラウンドとして、主にサッカーができる環境を整備。

今後は、光高が利用しないときは、サッカー練習場等、スポーツイベントなどに貸し出しも可能。

旧浅江中校舎は光市所有のため、早期に解体され、駐車場として利用できることを期待したい。



編集後記

「小さな声を県政へ、そして未来へ」は、私がこれまで大切にしてきた、現場の声を聴き、政策に繋げる姿勢そのものです。年4回発行している県政レポートを通して、「いそべとしえ」らしさをしっかりと伝えていけたらと思っています。女性の視点、現場主義そして未来志向という考え方を軸に、しっかり活動してまいります。